

# 平成 30 年度 事業報告

公益社団法人 日本皮膚科学会

1. 会員状況（平成 31 年 3 月 31 日現在総数）

(1) 会員数	12,392 名
・正会員	12,080 名
・賛助会員	312 名
(2) 皮膚科専門医数	6,802 名
・新規資格認定者	182 名
・資格更新認定者	1,378 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	49 名
(3) 皮膚悪性腫瘍指導専門医	85 名
・新規資格認定者	6 名
・資格更新認定者	10 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	2 名
(4) 美容皮膚科・レーザー指導専門医	48 名
・新規資格認定者	3 名
・資格更新認定者	8 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	0 名

2. 学術大会、講習会、その他の研究集会の開催

(1) 総会、学術大会

- ・第 117 回日本皮膚科学会総会  
会頭：秀 道広（広島大学）  
会期：平成 30 年 5 月 31 日（木）～6 月 3 日（日）  
場所：リーガロイヤルホテル広島（広島県・広島市）
- ・第 82 回日本皮膚科学会東部支部学術大会  
会長：山本 明美（旭川医科大学）  
会期：平成 30 年 10 月 6 日（土）～7 日（日）  
場所：星野リゾート <sup>オモセブン</sup>OM07 旭川（北海道・旭川市）
- ・第 82 回日本皮膚科学会東京支部学術大会  
会長：松江 弘之（千葉大学）  
会期：平成 30 年 12 月 1 日（土）～2 日（日）  
場所：ザ・プリンスパークタワー東京（東京都・港区）
- ・第 69 回日本皮膚科学会中部支部学術大会  
会長：川田 暁（近畿大学）  
会期：平成 30 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）  
場所：大阪国際会議場（大阪府・大阪市）

- ・第70回日本皮膚科学会西部支部学術大会

会長：森田栄伸（島根大学）

会期：平成30年11月10日（土）～11日（日）

場所：島根県民会館（島根県・松江市）

- ・上記のとおり日本皮膚科学会総会及び支部学術大会を開催し、運営を本部にて実施。また、各大会の講演についてE-learningを実施

## (2) 講習会

- ・必須（総会）

日時：平成30年6月3日（日）9:35～11:35、13:20～15:20

場所：リーガロイヤルホテル広島

- ・必須（夏）

日時：平成30年8月25日（土）10:30～16:00

場所：学術総合センター（東京都・千代田区）

- ・必須（冬）

日時：平成31年1月13日（日）10:00～15:30

場所：学術総合センター（東京都・千代田区）

- ・選択（夏）

日時：平成30年8月26日（日）10:00～15:30

場所：学術総合センター（東京都・千代田区）

- ・選択（冬）

日時：平成31年1月12日（土）12:30～16:30

場所：学術総合センター（東京都・千代田区）

- ・東部支部企画

日時：平成30年10月7日（日）13:40～15:40

場所：星野リゾート <sup>オホセブン</sup>OM07旭川（北海道・旭川市）

- ・東京支部企画

日時：平成30年12月2日（日）13:30～15:30

場所：ザ・プリンスパークタワー東京（東京都・港区）

- ・中部支部企画

日時：平成30年10月28日（日）14:30～16:40

場所：大阪国際会議場（大阪府・大阪市）

- ・西部支部企画

日時：平成30年11月9日（金） 15：00～17：00

場所：島根県民会館（島根県・松江市）

(3) 研修会

- ・皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会

日時：平成30年7月7日（土） 15：15～17：15

場所：アクトシティ浜松（静岡県・浜松市）

- ・美容皮膚科・レーザー指導専門医研修会

日時：平成30年8月5日（日） 15：25～17：25

場所：東京国際フォーラム（東京都・千代田区）

(4) 第5回皮膚科リーダー養成ワークショップ2018

日時：平成30年10月13日（土）～14日（日）

場所：ホテルフクラシア大阪ベイ（大阪府・大阪市）

(5) 第3回皮膚科サマースクール2018

日時：平成30年7月15日（日）～16日（月）

場所：小淵沢アートヴィレッジ（山梨県・北杜市）

(6) スペシャリティーナース講習会

日時：平成30年6月3日（日） 13：20～15：20

場所：広島県立総合体育館（広島県・広島市）

別途、各支部学術大会においてスペシャリティーナース講習上映会を実施

3. 機関誌その他の刊行物の発行

- ・日本皮膚科学会雑誌（第128巻）

月刊邦文誌、臨時増刊（年1回） 計 年13回刊行

J-STAGE（オンラインジャーナル）への登載

- ・The Journal of Dermatology (Vol. 45)

月刊英文誌 計 年12回刊行

- ・西日本皮膚科（西部支部）(Vol. 80)

偶数月（隔月） 計 年6回刊行

- ・JDA Letter の発刊

季刊誌 計 年4回刊行

#### 4. 内外の関連する団体との連携

##### (1) 国内

- ・「ひふの日」(11月12日)を中心にした一般市民向けの啓発事業の展開  
各都道府県において、講演会、健康相談、無料診断、広報活動等を実施
- ・依頼のあった皮膚科関連学会の総会等の運営支援を実施

##### (2) 海外

- ・ 5<sup>th</sup> Eastern Asia Dermatology Congress (EADC)  
会長：Min Zheng (中国)  
日本側会長：森田 明理 (名古屋市立大学)  
日時：平成30年6月21日(木)～23日(土)  
場所：昆明国際会議センター (中華人民共和国雲南省昆明市)

#### 5. 皮膚科学に関する調査研究及び治療ガイドライン等の作成

- ・ 医薬品等による副作用の症例の収集及び医薬品等のより良い使用方法の周知・確認
- ・ AI 及び Telemedicine の各 Working Group による検討
- ・ ICT 医療等の研究の検討
- ・ 各種ガイドライン及びマニュアル等の新規作成・改訂作業の実施
- ・ ICD11 策定に際し、皮膚科関連用語の吟味・和訳に関連して ILDS 及び厚生労働省に協力した。

#### 6. 専門医の認定及び専門医研修施設の指定

##### (1) 専門医認定

###### ① 認定試験の実施

- ・ 第26回皮膚科専門医認定試験  
日時：平成30年8月5日(日)  
場所：都市センターホテル (東京都・千代田区)
- ・ 第12回皮膚悪性腫瘍指導専門医認定試験  
日時：平成31年1月27日(日)  
場所：ホテル東京ガーデンパレス (東京都・文京区)
- ・ 第12回美容皮膚科・レーザー指導専門医認定試験  
日時：平成31年1月27日(日)  
場所：ホテル東京ガーデンパレス (東京都・文京区)

②検討事業

- ・指導医講習会の実施（継続事業）
- ・新専門医制度への各種対応

(2) 専門医研修施設

- ・主研修施設及び研修施設の認定、取消等の実施

7. 皮膚科学に関する教育、研究の奨励及び業績の表彰

- ・皮膚疾患ケア看護師制度の発足及び認定
- ・日本皮膚科学会皆見省吾記念賞  
受賞者：日高 高德／東北大学  
受賞論文：The aryl hydrocarbon receptor AhR links atopic dermatitis and air pollution via induction of the neurotrophic factor artemin  
*Nature Immunology*, 18(1):64-73, 2017
- ・日本皮膚科学会・雑誌論文賞  
受賞者：木村 浩／加賀市医療センター  
受賞論文：強皮症腎クリーゼにおける前駆症状  
日本皮膚科学会雑誌 第127巻第6号 1323-1330, 2017
- ・The Journal of Dermatology Best Paper Prize (2017)  
受賞者：岩永 聡／長崎大学  
受賞論文：Analysis of clinical symptoms and ABCC6 mutations in 76 Japanese patients with pseudoxanthoma elasticum  
*The Journal of Dermatology*, Volume44, Issue6, 644-650, 2017
- ・Master of Dermatology  
受賞者：古江 増隆／九州大学  
貢献したテーマ：Aryl hydrocarbon receptor 研究による社会貢献  
—油症および炎症性皮膚疾患の治療—
- ・日本皮膚科学会基礎医学研究費の授与  
受領者：伊東 孝通／九州大学  
研究課題：皮膚悪性腫瘍の上皮間葉転換における新規転写因子 OVOL1, OVOL2 の機能  
解明  
  
受領者：鬼頭 昭彦／京都大学  
研究課題：IgE の自然産生メカニズムの解明

受領者：新熊 悟／新潟大学

研究課題：栄養障害型表皮水疱症における変異7型コラーゲンの機能解析と新規治療法の開発

受領者：金丸 央／熊本大学

研究課題：皮膚科疾患における転写因子 BATF ファミリーの意義とその応用

受領者：管 析／東京大学

研究課題：皮膚T細胞リンパ腫におけるB細胞の役割に関する研究

受領者：岡村 賢／山形大学

研究課題：遺伝性色素異常症の遺伝子解析システムの確立およびゲノム編集技術を用いた機能解析

- ・日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費の授与

受領者：本田 哲也／京都大学

研究課題：高脂肪食摂取が好中球性皮膚炎症に及ぼす作用メカニズムの解明

- ・日本皮膚科学会皮膚医学研究基金の授与

受領者：松下 貴史／金沢大学

研究課題：IL-6 産生 Effector B細胞を標的とした全身性強皮症の新規治療法の開発

受領者：大日 輝記／京都大学

研究課題：表皮の新規遺伝子によるバリア、免疫、かゆみの制御機能の解明

## 8. 皮膚科学に関する国際的な研究協力の推進

- ・タイ・ディプロマコースへの講師派遣およびスカラシップ助成

- ・皮膚科関連国際会議出席

- ・ILDS（国際皮膚科連盟）活動への協力

## 9. 皮膚科学に関する情報の公開

- ・日本皮膚科学会ホームページ

- ・皮膚科 Q&A の改訂

- ・一斉メール送信

10. その他、本会の目的を達成するために実施した事業

- ・ 疾患レジストリ委員会、皮膚リンパ腫治療安全性検討WGの新設
- ・ 留学支援事業の詳細検討
- ・ 日本専門医機構との各種折衝（継続事業）
- ・ 各支部学術大会におけるメンター&メンティー相談会の実施

以上